福祉条例実施施策スケジュール

	施策	内容	実績 検証	令和4年度	令和5年度	令和6年度	優先度	令和7年度(予定)	令和8年度
福祉現場の魅力を伝えること	市政番組「いいじゃん新城」、広報しんしろ「ほのか」等を活用した情報発信	市民の方に福祉職・介護職や市内の福祉サービス等について知ってもらう。	実績		広報しんしろ「ほのか」に「福祉のお仕事」を隔月掲載	広報しんしろ「ほのか」に「福祉のお仕事」を隔月掲載	中	広報しんしろ「ほのか」に「福祉のお仕事」を隔月掲載	
			検証		市民に福祉サービスについて知ってもらう取組は必要	市民に福祉サービスについて知ってもらう取組は必要			
	誰でも参加できるイベントで周知	シルバー祭り、RUN伴等のイベントで情報発信することにより、福祉の仕事について関心のなかつた方にアピールできる。	実績	福祉フェスで福祉のまちづく条例パネル展示	福祉フェスで福祉のまちづく条例パネル展示	低			
			検証	多くの市民に対する情報発信機会は必要	多くの市民に対する情報発信機会は必要				
	中高校生向けの体験型イベント、講座を開催、福祉教育の充実 ※「初めの一步」事業:令和3年度実施	体験することにより福祉の仕事について興味を持ってもらい、将来の福祉人材確保へつなげる。	実績			高			
			検証						
	福祉職の魅力を伝える写真展	施設等を利用している人でなければ、福祉職の方が働いている姿を見ることはできない、やりがいを持って働いている姿を写真にすることで、一般の方にも魅力を伝える。	実績	福祉フェスで「キラリしんしろ☆写真展」の展示	福祉フェスで「キラリしんしろ☆写真展」の展示	中			
			検証	福祉の魅力を伝える工夫は必要	福祉の魅力を伝える工夫は必要				
	新城市福祉・介護フェア、新城市福祉・介護市民フォーラム	高齢者疑似体験・介護体験等の体験イベント、介護ロボットの展示、作品展、投産商品の販売などにより多くの方に福祉について関心を持ってもらう。市内の事業所にも参加してもらい施設紹介や就職相談を実施する。市民フォーラムを開催し福祉・介護職員による実践発表や講演会等を行う。	実績	第1回しんしろ福祉フェスを開催(R4/12/18) (福祉・介護機器展、福祉事業所即売会)	第2回しんしろ福祉フェスを開催(R5/3/20) (福祉・介護機器展、福祉事業所即売会)	中			
			検証	多くの市民に対する情報発信機会は必要 福祉従事者の多職種交流に効果あり	多くの市民に対する情報発信機会は必要 福祉従事者の多職種交流に効果あり				
連携する仕組みをつくること	福祉・介護サービス連絡協議会、新城福祉介護学会	市内の福祉事業所のつながりを持つことで、情報交換や交流、事例研究などの互いの顔の見える関係づくり(多職種連携)がサービス等の差別化を解消し、事業所の質を上げることになる。ひいては、利用される方へのサービス向上につながる。	実績			低			
			検証						
	行事・イベントに関する作り物を共通利用できる仕組みをつくる	季節ごとの行事・イベントに関する飾りなどの作り物を各事業所において作成しているが、作成には手間や時間がかかり保管場所にも苦慮している。各事業所で保管している作り物の情報交換できる体制を整え、貸し借りできるようにすれば経費や時間を他業務へまわすことができ業務の効率化につながる。また、地域の方に作成してもらう機会を設けることで、地域とのつながりが生まれる。	実績			低			
			検証						
	無料相談窓口の設置	職場で悩み等を相談できない場合に離職へつながる可能性が高い。対面での相談の他に電話やSNSでも仕事に関する悩みを相談できる窓口を設置し離職予防をはかる。	実績			低			
			検証						
	「ほいっぶネットワーク」の利用拡大	現在、介護事業所は「ほいっぶネットワーク」を使用し、事業所利用者の情報共有を行っているが、福祉事業所も「ほいっぶネットワーク」が使用できるように進める。	実績			中			
			検証						
	合同職員研修 ※「初めの一步」事業:令和4年度予算化	講師を招いて、講習・講演など、事業所単独では実施できない研修会の開催。名古屋など遠方で実施される勉強会、研修を新城市内で実施。スキルアップ、モチベーションアップをはかる。	実績	福祉フェスで國信綾希氏講演会	福祉フェスで松岡千恵氏講演会	中			
			検証	「地域共生社会」についての関心は高まった。 共通課題に対する研修内容に工夫が必要	「地域共生社会」についての関心は高まった。 共通課題に対する研修内容に工夫が必要				
	事業所に出向いて現場を確認しての出前研修	施設によって困りごとなどは様々である。現場を確認して、その施設で本当に必要とされる研修を実施する。施設での問題点を一緒に考えて考える(世直し隊)。	実績			中			
			検証						
	雇用人、管理者、リーダー等階層別の研修を実施	現場職員や現場責任者だけでなく代表者(経営者)や職場のマネジメントを行う立場にある管理者等に対して、生産性向上による介護サービスの質の向上を目指し研修を実施する。働く人のモチベーションの向上、楽しい職場・働きやすい職場作りをすることにより、介護サービスの質の向上や人材の定着・確保につなげる。	実績		段階別研修(R5.9.15管理者向け、R5.10.20実務経験3年以上、R5.11.10実務経験3年未満)	中			
			検証		開催時間・曜日について検討が必要 ※R5.11.10参加者集まらず中止				
	就職(復職)前研修	福祉職に興味があるが初めての仕事に対して不安のある方、福祉職から離れて時間がたっており復職に際して不安のある方に研修を実施する。	実績			低			
			検証						
外国人向けの日本語研修に対する支援	外国人技能実習生を受け入れる際に、日本語の能力が問題となってくる。日本語研修を支援することにより、外国人技能実習生の受け入れも進み人材不足解消の一助になる。	実績			中				
		検証							
福祉事業所を評価し支援すること	就職祝金	新城市に新規の福祉人材を呼び込むために、新城市内の福祉サービス事業所に就職した方に就職祝金を支給する。	実績			低			
			検証						
	福祉・介護の資格取得に対する助成	新城市内の事業所で働きながら資格取得を目指す方に対して、資格取得のためにかかった経費の一部を補助する。	実績			低			
			検証						
	ICTネットワークや介護ロボット導入に対する助成	ICTネットワークや介護ロボットを導入することにより、これまで時間を割いてた利用者の記録や書類作成などの事務が簡素化され、常時どこでも情報共有できることで業務の時間短縮につながったり、身体的負担・精神的負担の軽減につながる。	実績			低			
			検証						
	備品購入、施設改修に対する助成	経年劣化で更新が必要な備品の購入や施設改修を行うことができず、利用者や職員の負担となっている。市の助成制度があれば、改善しやすくなる。	実績			低			
			検証						
	永年勤続表彰 ※「初めの一步」事業:令和4年度予算化	福祉人材の流出予防のために、新城市内の福祉サービス事業所に継続して勤務されている方に永年勤続表彰を行う。	実績	福祉フェスで「キラリしんしろ☆福祉賞」実施	福祉フェスで「キラリしんしろ☆福祉賞」実施	高			「キラリしんしろ☆福祉賞」実施
			検証	市長から直接受けることで励みになる。 勤務意欲の向上には追跡調査が必要	市長から直接受けることで励みになる。 勤務意欲の向上には追跡調査が必要				
認定福祉事業所制度(仮称)	福祉現場で働く人の満足度など職場環境を評価し市の認定を受けると、サポートを具体的に受けられるような仕組みにする。	実績			低				
		検証							
							※改めて新城市福祉従事者支援施策推進会議の在り方などについて、意見を出し合った。		